

資料3 ヒアリング依頼状

ヒアリング調査のお願い

私たちの研究班は、厚生労働省の科学研究費を受領し、市区町村の保健センターが地域の中でより一層活動できるような方策を研究しています。特に、保健センター等と他分野（行政内他部署やNPOや民間など）との連携に着目して、要因を探ります。連携がうまくいっている保健センターの情報収集・分析を行うことにより、地域特性を考慮した保健センターの業務連携機能を高めたり、地域保健の水準の維持・向上が図れると思います。

具体的には全都道府県・政令指定都市・中核市・特別区から、連携がうまくいっている事業に関わっている保健センターをご紹介いただき、その中で連携が特に上手くいっている保健センターに聞き取り調査を行います。そして、その結果を、事例集やサイトでの公開と言った形で社会にフィードバックします。

その中で、貴自治体にある、保健センターの連携が特に良好ということで、詳細な状況をお伺いしたく、ヒアリング調査のお願いをさせていただきます。

ヒアリング調査にご協力いただけても、何ら不利益を被ることはありません。一旦ご引き受けいただいた後でも、理由のいかんを問わず、取りやめることも可能です。

ヒアリングの結果、許可を得られたものについては、報告書に研究の成果として、市町村名とともに掲載します。

調査における倫理的配慮

調査実施にあたりまして、以下のことを厳守いたします。

- ◆ 知り得たデータは、本研究目的以外で使用することはありません。
- ◆ 研究へのご参加は自由意思です。研究にご協力いただけなかった場合でも、不利益になるようなことは一切ありません。
- ◆ 結果の公表には、回答者個人を特定する記載はいたしません。

本研究の実施体制

研究代表者：藤原 佳典（地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター研究所）

研究副代表者：大澤 絵里（国立保健医療科学院）

研究分担者：藤内 修二（大分県福祉部）、尾島 俊之（浜松医科大学）、清水 由美子（東京慈恵会医科大学）、松永 洋子（日本医療科学大学）、村山 洋史（東京大学）、中板 育美（武蔵野大学）

事務局：相良 友哉、深谷 太郎（東京都健康長寿医療センター研究所）

お問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター研究所

相良 (03-3964-3241 内線4257)、深谷 (同 内線4266)

研究班用メールアドレス (hcnw@tmig.or.jp)

本研究は、2018年度厚生労働省科学研究費補助金：健康安全・危機管理対策総合研究事業によるものです。また、本研究の実施に関し、利益相反はありません。

この研究は、東京都健康長寿医療センター研究所および国立保健医療科学院倫理審査委員会の審査を経て、承認を得ています（倫理審査番号 NIPH-IBRA#12197）。